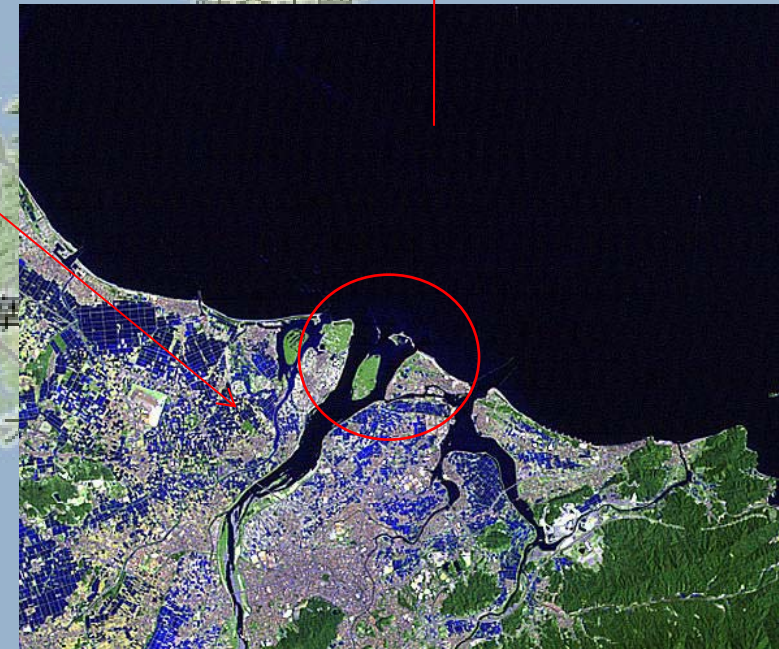


三重県宮川河口部



次スライド

宮川河口、干潟

宮川は、大台山系を源流とし、伊勢湾に開口部を有する三重県で一番長い(約90Km)河川である。1級河川が対象の国土交通省水質調査で近年全国一位の水質を誇っている。



宮川河口部は約2Kmの長さがあり、そして広大な干潟がある。干潮時に干潟を調査すると大量のマガキに遭遇した。

朽ちかけた大きな流木の向こうには干潟や砂州が見える。白く見えるのは、マガキの貝殻である。潮間帯のマガキは、生きているものが大半である。

次スライド

宮川河口、干潟 天然マガキ



白く見えるのはすべてマガキである。広大な干潟一面をマガキが覆っている。数個が石に付着し、かき塊となっている。また、何層にもかき殻が重なり、最上部に生きたマガキのついたいわゆる自然の「かき塚」も随所に見られる。

※カヌーによる宮川河口部の調査

森海イシマキ研究会
(2001/08/04)